

日本郵船、仏・電力会社向けLNG運搬船竣工

Edited By LogisticsToday On 2020/05/18

日本郵船は18日、仏・電力会社EDFの子会社EDF LNG SHIPPING社向けに韓・現代三湖重工業で建造していた新造液化天然ガス（LNG）運搬船「エリサ・ラルス」が15日に竣工したことを発表した。同船は、日本郵船がEDFと定期用船契約を結ぶ1番船で、最長20年間のLNG輸送に従事する。



「エリサ・ラルス」の全長は297.23メートルで、最大17.4万立方メートルのLNGを積載可能。船内には、燃料油とボイルオフガス（航行中に気化してしまう天然ガス）を利用する二元燃料低速ディーゼル機関を搭載するとともに、優れた防熱材によりカーゴタンクのボイルオフ（気化）率を低レベルに抑えることができるタンク方式を採用した。

また、LNG船としては世界で初めてサイバーセキュリティに関する認証「SYS-COM Notation」をフランス船級協会から取得した。

「エリサ・ラルス」の概要

全長：297.23メートル

全幅：46.4メートル

総トン数：11万8286トン

主機関：X-DF

積載容量：17万4000立方メートル

造船所：現代三湖重工業（韓国）

船籍：フランス

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/377345>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.